

60年のあゆみ



秦野市伊勢原市環境衛生組合

目 次

あいさつ	1
1 組合の概要	2
2 組合のあゆみ	4
3 組合「いま・むかし」	8
4 名簿	14
(1) 歴代組合長	
(2) 歴代副組合長	
(3) 歴代収入役	
(4) 歴代組合議会議長	
(5) 歴代組合議会副議長	
(6) 歴代識見を有する監査委員	
(7) 歴代議員選出監査委員（秦野市議会選出議員）	
(8) 歴代議員選出監査委員（伊勢原市議会選出議員）	
(9) 歴代事務局長	

表紙の写真

左上：はだのクリーンセンター

左下：秦野斎場

右上：伊勢原清掃工場（90 t / 日焼却施設）

右下：栗原一般廃棄物最終処分場

あ い さ つ



組合長 高橋 昌和
(秦野市長)



副組合長 高山 松太郎
(伊勢原市長)

本組合は、秦野市、西秦野町及び伊勢原町が、し尿及びじん芥業務を共同処理することを目的として、昭和36年5月20日に秦野市外二町清掃処理組合として設立されました。

その後、秦野市と西秦野町の合併や、伊勢原市の市制施行に伴い、昭和46年3月に秦野市伊勢原市清掃組合に名称変更し、さらに共同処理事務として火葬場施設の設置及び管理業務を加えたことに合わせまして、昭和50年4月に現在の秦野市伊勢原市環境衛生組合に名称を改めました。

平成21年9月には、し尿の共同処理を終了するなど、共同処理事務等の変遷はありますが、本年5月20日に昭和36年の設立から60年の節目を迎えることができました。これもひとえに本組合施設の地元自治会をはじめとする秦野・伊勢原両市民の皆さまをはじめ、関係機関の方々の御理解と御協力のたまものであると深く感謝しているところであります。

本組合が管理・運営しております、はだのクリーンセンター、伊勢原清掃工場、秦野斎場、栗原一般廃棄物最終処分場の全ての施設が、両市民の良好な生活環境を維持するために必要不可欠なものであり、このコロナ禍においても安定的な管理運営を継続していかなければならない施設であります。今後も新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にした上で、より地域に開かれた身近な施設となるよう目指しつつ、切れ目のない管理運営に努めてまいります。

最後に、現在、本組合では、「可燃ごみ焼却処理の1施設体制化」や「不燃・粗大ごみ処理施設の再整備」など、早期に解決を図らなくてはならない、重要課題を抱えていますが、これらも全て両市民の皆さまの御理解と御協力を得られなければ、実現させることができません。これらの早期解決のため、今後も引き続き、御支援をお願い申し上げます。

1 組合の概要

- (1) 名 称 秦野市伊勢原市環境衛生組合
- (2) 構成団体 秦野市及び伊勢原市
- (3) 設立年月日 昭和36年5月20日（神奈川県指令地第530号）
【現名称変更 昭和50年4月15日（神奈川県指令地第4号）】

(4) 所在地

ア 組合事務所

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋4624番地 TEL0463-82-2500

イ はだのクリーンセンター（ごみ処理施設）

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋4624番地 TEL0463-82-2502

ウ 伊勢原清掃工場（ごみ処理施設）

〒259-1103 神奈川県伊勢原市三ノ宮1918番地 TEL0463-95-1711

エ 秦野斎場（火葬施設）

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋1006番地 TEL0463-81-2052

オ 栗原一般廃棄物最終処分場（埋立処分場）

〒259-1103 神奈川県伊勢原市三ノ宮2854番地 TEL0463-95-1523

(5) 組合の業務

ごみの終末処理施設及び葬祭施設の設置及び管理に関する事務

(6) 管内人口及び世帯数

市別	区 分	人 口	世 帯 数
秦 野 市		162,114 人	70,788 世帯
伊 勢 原 市		101,347 人	45,516 世帯
合 計		263,461 人	116,304 世帯

（令和3年8月1日現在の推計人口）

【参考】

後頁にて「可燃ごみ搬入量」「火葬件数」における平成2年度と令和2年度実績の比較について記載していますので、参考までに同時期の人口と世帯数を示します。

区分 市別	平成2年（1990年）		令和2年（2020年）	
	人口	世帯数	人口	世帯数
秦野市	155,620人	54,225世帯	162,579人	70,381世帯
伊勢原市	89,567人	30,530世帯	101,839人	45,231世帯
合計	245,187人	84,755世帯	264,418人	115,612世帯

※ 各年10月1日現在（国勢調査による）

※ 令和2年は国勢調査速報値

(7) 施設案内図



2 組合のあゆみ

年 月	組 合 の あ ゆ み	社 会 の 出 来 事
昭和36年 5月 (1961年)	秦野市外二町清掃処理組合設立(秦野市、西秦野町、伊勢原町が「し尿及びじん芥」の共同処理)	4月 ガガーリン人類初の宇宙飛行に成功 9月 第二室戸台風で死者185人
昭和37年 (1962年)		2月 東京都の人口1千万人突破 8月 堀江健一ヨットで太平洋横断に成功
昭和38年 2月 (1963年)	秦野市伊勢原町清掃組合に名称変更(秦野市、西秦野町の合併)	10月 東海村で日本初の原子力発電に成功 11月 米国 ケネディ大統領暗殺
6月	秦野衛生センター ごみ処理施設竣工(30t/日) [昭和46年10月休止⇒平成元年10月廃止届⇒平成3年5月解体]	
8月	秦野衛生センター し尿処理施設竣工(72kℓ/日) [昭和60年2月休止⇒平成元年10月廃止届⇒平成3年5月解体]	
昭和39年 (1964年)		10月 東海道新幹線営業開始 10月 東京オリンピック開催
昭和40年 (1965年)		10月 朝永振一郎博士ノーベル物理学賞受賞
昭和41年 (1966年)		1月 スモン集団発生
昭和42年 (1967年)		10月 吉田茂元首相死去
昭和43年 (1968年)		4月 小笠原諸島返還 23年ぶり 10月 川端康成氏ノーベル文学賞受賞 12月 東京 府中で3億円強奪事件
昭和44年12月 (1969年)	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設(20t/日) [昭和51年7月休止⇒昭和58年12月廃止届⇒昭和59年3月解体]	7月 人類、月を踏み アポロ11号
昭和45年 (1970年)		3月 大阪万博開催 11月 三島由紀夫氏クーデター未遂事件
昭和46年 3月 (1971年)	秦野市伊勢原市清掃組合に名称変更 (伊勢原町の市制施行)	7月 環境庁発足 8月 円、変動為替相場に移行 経済界大ゆれ
10月	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設(※5)(40t/日) [昭和51年7月休止⇒昭和58年12月廃止届⇒昭和59年3月解体]	
昭和47年 1月 (1972年)	秦野衛生センター し尿処理施設(※2)竣工 (100kℓ/日) [平成元年10月休止⇒平成4年2月廃止届⇒平成15年7月解体]	1月 グアム島で横井庄一元軍曹発見救出 2月 札幌冬季オリンピック開催 2月 連合赤軍 軽井沢「浅間山荘事件」 5月 沖縄返還
2月	伊勢原清掃工場 粗大ごみ処理施設竣工(※6) (破碎機10t/5h、圧縮機12t/5h)	
4月	粗大ごみ処理業務委託開始	
昭和48年 (1973年)		1月 ベトナム和平本調印(ベトナム戦争終結) 4月 巨匠ピカソ死去 8月 金大中事件
昭和49年 (1974年)		3月 ルバング島で小野田寛郎元少尉発見救出
昭和50年 4月 (1975年)	秦野市伊勢原市環境衛生組合に名称変更 (「火葬場施設の設置及び管理」の共同処理を追加)	7月 沖縄海洋博
昭和51年 6月 (1976年)	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設竣工(※4) (180t/日、破碎機50t) [平成24年11月休止⇒平成26年5月廃止届]	7月 ロッキード事件で田中角栄元首相を逮捕 9月 毛沢東中国共産党主席死去
8月	秦野斎場(※11) 火葬場竣工(火葬炉3炉、待合室3室)昭和50年度から昭和51年度までの2か年事業	
昭和52年 (1977年)		9月 王貞治選手「国民栄誉賞」第1号 9月 円高、1ドル230円台 経済混乱
昭和53年 6月 (1978年)	秦野斎場 霊柩自動車(バス型)(※10)運行開始	7月 日本世界一の長寿国に

年 月	組 合 の あ ゆ み	社 会 の 出 来 事
昭和54年12月 (1979年)	伊勢原清掃工場 粗大ごみ処理施設竣工 (併用施設30 t /5h)	6月 東京サミット開催
昭和55年 1月 (1980年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工 (改造・受入貯留設備の前処理及び貯留槽の増設) [平成4年2月廃止届⇒平成15年7月解体]	5月 史上初の衆参両院同日選挙 9月 イラン・イラク紛争、全面戦争へ
昭和56年 (1981年)		4月 宇宙連絡船スペースシャトルコロンビア号初飛行 7月 英国チャールズ皇太子がダイアナさんと挙式
昭和57年 4月 (1982年)	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設竣工 (排ガス処理施設)	2月 日航機羽田沖で墜落、逆噴射 4月 アルゼンチン、英国領フォークランド諸島を占領
昭和58年 3月 (1983年)	秦野衛生センター 脱離液送水管敷設 (下水道管)	4月 「東京ディズニーランド」オープン 7月 任天堂 家庭用ゲーム機「ファミリーコンピュータ」発売
4月	秦野衛生センター 脱離液下水道投入開始	8月 アキノ元上院議員マニラ空港で暗殺 9月 大韓航空機をソ連機がミサイルで撃墜 10月 伊豆諸島三宅島大噴火
10月	栃窪一般廃棄物最終処分場 (※8) 竣工 (容量58,900m ³)	
昭和59年 (1984年)		2月 植村直己さんマッキンリーで遭難 7月 ロサンゼルスオリンピックで山下泰裕が金メダル
昭和60年 2月 (1985年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工 昭和57年度から昭和59年度までの3か年事業 (更新72kℓ/日、新設：高度処理施設172kℓ/日) [平成21年3月搬入終了⇒同年9月「し尿」の共同処理が終了⇒同年10月廃止届⇒平成25年5月以降、秦野市及び伊勢原市と旧事務所棟使用協定締結]	3月 つくば科学博開催 8月 日航ジャンボ機御巣鷹山に激突520人死亡
10月	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設竣工 (90 t /日、破砕機15 t)	
昭和61年10月 (1986年)	秦野斎場管理業務委託開始	4月 チェルノブイリ原子力発電所で爆発事故 11月 三原山が209年ぶりに大噴火
昭和62年 3月 (1987年)	伊勢原清掃工場 汚泥乾燥施設竣工 (10 t /日)	4月 ゴッホの「ひまわり」日本企業が約53億円で落札 11月 大韓航空機がビルマ沖で消息不明
昭和63年 3月 (1988年)	伊勢原清掃工場 粗大ごみ処理施設竣工 (改造 受入貯留槽のピット[400m ²]・クレーン等)	3月 青函トンネル開通 4月 リクルート事件 7月 「なだしお」と「第一富士丸」衝突 8月 イラン・イラク戦争停戦
平成元年 3月 (昭和64年) (1989年)	栃窪一般廃棄物最終処分場 改良工事竣工 (容量15,900m ³ 増) (埋立面積12,100m ² 、容量74,800m ³)	1月 昭和天皇陛下崩御 昭和から平成へ 4月 消費税がスタート 税率3%
平成 2年 (1990年)		8月 イラク軍がクウェートに侵攻 10月 東西ドイツが統一
平成 3年 7月 (1991年)	秦野市がペットボトル分別収集開始 ペットボトル圧縮稼働開始	6月 雲仙普賢岳大火山砕流発生死者・行方不明者43人 12月 ソビエト連邦消滅
平成 4年 2月 (1992年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工 (更新100kℓ/日)平成元年度から平成3年度までの3か年事業 [平成21年3月搬入終了⇒同年9月「し尿」の共同処理が終了⇒同年10月廃止届⇒平成22年9月解体完了]	3月 公示地価17年ぶりに前年水準下回る 6月 国連平和維持活動 (PKO) 協力法成立 7月 バルセロナオリンピックで岩崎恭子が金メダル
平成 5年 3月 (1993年)	栃窪一般廃棄物最終処分場 埋立終了 栗原一般廃棄物最終処分場(第一期)建設工事竣工 (面積4,700m ² 、容量25,500m ³)	5月 サッカー「Jリーグ」発足 6月 皇太子殿下(現天皇陛下) 小和田雅子さんと結婚
10月	秦野斎場火葬炉増設工事竣工 (火葬炉2炉増設)	8月 細川護国閣発足38年ぶりの政権交代

年 月	組 合 の あ ゆ み	社 会 の 出 来 事
平成 6年 (1994年)	伊勢原清掃工場 180t/日焼却施設 改造工事竣工 (ロータリードライヤーからストーカへの改造)	6月 松本サリン事件 8人死亡 12月 ソニー 家庭用ゲーム機「プレイステーション」発売
平成 7年 7月 (1995年)	伊勢原清掃工場 180t/日焼却施設 爆発事故 (以後、事故発生日の7月6日を「安全衛生の日」に)	1月 阪神・淡路大震災 マグニチュード7.3 3月 地下鉄サリン事件 13人死亡
平成 8年 6月 (1996年)	秦野斎場霊柩車運行停止 (Nox規制法、総量規制法による)	2月 将棋 羽生善治さん史上初の7冠独占 7月 サッカーオリンピック代表「マイアミの奇跡」(日本vsブラジル(1-0)) 9月 国連総会「包括的核実験全面禁止条約」採択
平成 9年 (1997年)		4月 消費税3%から5%に引き上げ 7月 香港 英国植民地から中国に返還 12月 東京湾海底トンネル「アクアライン」開通
平成10年 3月 (1998年)	秦野斎場増築棟改修工事(待合室2室増設)竣工	2月 長野冬季オリンピック開幕 7月 和歌山毒カレー事件 4人死亡 10月 横浜ベイスターズ日本シリーズ優勝 38年ぶり2回目
平成11年 3月 (1999年)	栗原一般廃棄物最終処分場(※7)(第二期)建設工事竣工(面積12,060㎡、容量107,000㎥) ※平成20年1月変更届分(容量42,500㎥)(全体面積16,760㎡、全体容量175,000㎥)	6月 「男女共同参画社会基本法」成立 8月 国旗・国歌法成立
平成12年 (2000年)		3月 携帯電話の台数が固定電話を抜く 5月 ロシアの大統領にプーチン氏が就任 7月 三菱自工 車の欠陥情報隠蔽運輸省発表 12月 東京世田谷一家4人殺害事件発覚
平成13年 3月 (2001年)	伊勢原清掃工場90t/日焼却施設(※3) ダイオキシン類削減対策竣工 (排ガス高度処理及び灰固形化施設整備(電気集じん機をバグフィルターに改造等))	3月 「ユニバーサルスタジオジャパン」大阪にオープン 9月 「東京ディズニーシー」オープン 9月 米国同時多発テロ 11月 JR東日本「Suica」導入
平成14年 (2002年)		1月 欧州12か国で単一通貨ユーロ流通開始 8月 住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)スタート 10月 北朝鮮による日本人拉致被害者のうち5人が24年ぶりに帰国
平成15年 3月 (2003年)	伊勢原清掃工場 180t/日焼却施設 ダイオキシン類削減対策竣工 (排ガス高度処理及び灰固形化施設整備(電気集じん機をバグフィルターに改造等))	4月 「六本木ヒルズ」オープン 12月 テレビ地上デジタル放送開始(東京、大阪、名古屋)
平成16年 (2004年)		10月 大リーグ マリナーズ イチローがシーズン最多安打 12月 インドネシア・スマトラ島沖地震 マグニチュード9.0
平成17年 2月 (2005年)	秦野斎場煙突耐震補強工事竣工	3月 「愛・地球博」が愛知県で開幕 4月 JR福知山線脱線事故
平成18年 (2006年)		3月 野球の第1回WBCで日本優勝 8月 iPS細胞を作り出すことに成功
平成19年 1月 (2007年)	秦野斎場アスベスト材除去工事竣工	3月 北海道 夕張市が財政再建団体に 4月 郵政事業民営化
	3月 伊勢原清掃工場 180t/日(建物補強工事)竣工(耐震壁の設置、窓開口部の塞ぎ等)	
	12月 栗原一般廃棄物最終処分場増設完了(全体面積16,760㎡、埋立容量175,000㎥)	
平成20年 3月 (2008年)	秦野斎場待合室歩廊改修工事竣工(待合棟歩廊部のロビー化、空調、照明設備増設)	4月 「後期高齢者医療制度」スタート 6月 秋葉原通り魔事件 7人死亡 9月 米国の大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻

年 月	組 合 の あ ゆ み	社 会 の 出 来 事
平成21年 9月 (2009年)	し尿処理業務を秦野市、伊勢原市それぞれで実施することに伴い、「し尿」の共同処理が終了	5月 「裁判員制度」スタート 6月 マイケル・ジャクソンさん死去
平成22年 1月 (2010年)	はだのクリーンセンター建設工事 200 t /日施設 平成21年度から平成24年度まで4か年事業 建設期間 平成22年2月から平成25年1月まで	4月 殺人や強盗殺人事件の時効廃止 8月 南米チリの鉱山で落盤事故 12月 淡水魚「クニマス」生息確認
11月	秦野衛生センター 施設解体竣工 (100 kℓ/日)	
平成23年 (2011年)		3月 東日本大震災 マグニチュード9.0 7月 サッカー女子ワールドカップで日本初優勝
平成24年11月 (2012年)	伊勢原清掃工場180 t /日焼却施設稼働停止 (はだのクリーンセンター試験運転開始)	5月 「東京スカイツリー」オープン 11月 中国共産党トップの総書記に習近平氏
平成25年 1月 (2013年)	はだのクリーンセンター(※1) 200 t /日 建設竣工 (平成25年1月31日本稼働) はだのクリーンセンター包括運營業務委託開始 (3年間)	2月 ニホンウナギ絶滅危惧種に指定 8月 国の借金が初めて1000兆円を超える 11月 プロ野球 楽天初の日本一
平成26年 (2014年)		4月 消費税5%から8%に引き上げ 9月 御嶽山噴火 死者行方不明者63人
平成27年 (2015年)		7月 米国とキューバ54年ぶり国交回復 10月 マイナンバー法施行 11月 パリ同時多発テロ 130人死亡
平成28年 4月 (2016年)	はだのクリーンセンター長期包括運營業務委託開始 (12年間)	4月 熊本地震マグニチュード7.3 4月 囲碁 井山裕太さん 囲碁初の七冠 12月 新潟 糸魚川で大規模火災
10月	秦野斎場増築改修工事(建築工事、電気設備工事、機械設備工事は、平成28年度から平成30年度までの3か年事業、火葬炉設備工事は、平成28年度から平成30年度までの2か年事業)に着手	
平成29年 (2017年)		1月 米国大統領にトランプ氏就任(共和党) 3月 任天堂 家庭用ゲーム機「ニンテンドースイッチ」発売 7月 国連総会「核兵器禁止条約」採択
平成30年 4月 (2018年)	秦野斎場増築棟供用開始 (火葬炉7炉、待合室4室、告别室4室、収骨室4室) 旧火葬炉棟解体及び旧待合棟改修工事着手	6月 史上初の米朝首脳会談 9月 テニス女子 大坂なおみ 全米オープン初優勝
平成31年 4月 (令和元年) (2019年)	秦野斎場(※9)改修棟供用開始 (待合室4室、多目的室)	3月 大リーグ マリナーズ イチローが現役引退を表明 5月 平成から令和へ 10月 消費税8%から10%に引き上げ(標準税率)
令和 2年 1月 (2020年)	「冬のクリセンフェスタwith富士見の湯」開催	1月 中国 武漢で新型肺炎発生 1月 英国がEU離脱
8月	「はだの・いせはらクリセンチャンネル」開設	8月 レバノン首都で大爆発
令和 3年 4月 (2021年)	秦野斎場に指定管理者制度を導入 (5年間)	1月 米国大統領にバイデン氏就任(民主党) 7月 東京2020オリンピック開幕 8月 東京2020パラリンピック開幕

※ 施設名称について「(※1)」などの数字は、次頁以降の写真に付してある数字と一致します。

3 組合「いま・むかし」

① はだのクリーンセンターと秦野衛生センター

・はだのクリーンセンター（※1）



令和2年頃

・秦野衛生センター（処理棟）



平成22年頃

・はだのクリーンセンター竣工式



平成25年



平成15年頃

現在の「はだのクリーンセンター」が設置されている場所には、かつて「秦野衛生センター」があり、「ごみ処理施設」と「し尿処理施設」を運営していました。「ごみ処理施設」は伊勢原清掃工場に新たなごみ処理施設が整備されたため、昭和46年10月に稼働を休止しましたが、「し尿処理施設」は人口の増加に伴って昭和38年8月から平成4年2月までにかけて新設や解体等を行い、平成21年9月まで秦野市及び伊勢原市の「し尿」の共同処理業務を担ってきました。これ以降の「し尿処理」は、それぞれの市が行っています。

その後、管理棟以外の施設が解体され、平成25年1月に同じ場所に現在稼働中の「はだのクリーンセンター」が竣工しました。「はだのクリーンセンター」は、秦野市及び伊勢原市から排出された可燃ごみ（燃やすごみ）を200t/日（100t/日炉×2炉）の焼却施設で焼却処理をしています。焼却の際に発生した熱エネルギーは、施設内の給湯や最大3,820キロワットの発電に利用し、発電した電力は、施設内すべての電気を賄い、余った電気は電力会社に売電しています。さらに、余熱エネルギーを有効活用し、隣接地にある秦野市の公共施設「名水はだの富士見の湯」へ温水の熱源として供給しています。

また、煙突から排出されるガスについては、成分ごとに法令基準値よりも厳しい自主規制値を設け、その状況を正門横に設置した電光表示盤により、誰もがいつでも確認できるようにしています。

施設の運転や維持管理の業務は、包括的な委託により行っています。

・し尿処理施設（※2）



昭和46年頃

【地域に開かれた施設へ】

はだのクリーンセンターでは、地域に開かれた施設として、様々なイベントを実施しています。イベントを通して、ごみ処理などに関心をお持ちいただき、地域の皆さまに親しまれるような施設を心掛けています。

施設見学会

夏休み親子見学会などの施設見学会を通して、地域の皆さまにごみ処理の仕組みを学んでいただいています。



サツマイモ 苗植え・収穫

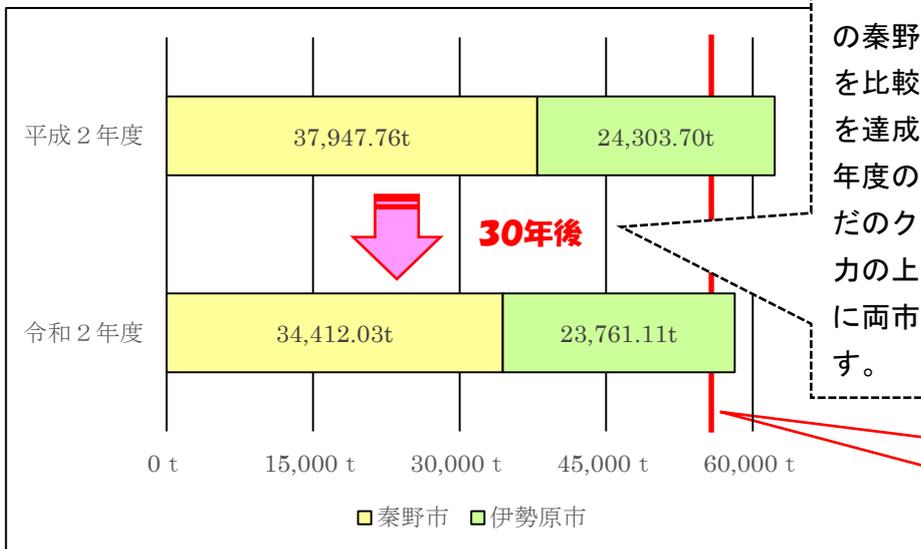
すえひろこども園の園児と一緒に楽しい雰囲気の中、サツマイモの苗植えと収穫を行っています。

クリセンフェスタ

クリセンフェスタでは、収集車がごみを搬入する流れの模擬体験や、探検ガイドツアーを通してごみ処理の仕組みを学んでいただきました。



～可燃ごみ搬入量の推移～



30年前の平成22年度と令和2年度の秦野市・伊勢原市の可燃ごみ搬入量を比較しますと、約4,000トンの減量を達成しています（ピークは平成10年度の約76,500トン）。引き続き、はだのクリーンセンターの年間の処理能力の上限量である56,000トンを目指し、両市とともに減量を進めてまいります。

**ごみ減量目標値
56,000トン**

② 伊勢原清掃工場の今（90 t /日焼却施設）と昔（40 t /日焼却施設）

・ 90 t /日焼却施設(※3)



平成 20 年代頃

・ 40 t /日焼却施設(※5)

昭和 46 年頃



・ 180 t /日焼却施設(※4)

昭和 58 年頃



「伊勢原清掃工場」は、主に可燃ごみと不燃ごみを処理する「ごみ処理施設」として、昭和44年12月に「20 t /日焼却施設」、昭和46年10月に「40 t /日焼却施設」、昭和47年2月に「粗大ごみ処理施設」を竣工しました。その後、人口増加等によるごみ量の増や、ごみの分別の多様化に対応するため新設や増設等を行い、現在は、「90 t /日焼却施設」と「粗大ごみ処理施設」が稼働しています。

「90 t /日焼却施設」では、主に伊勢原市から排出された可燃ごみ（燃やすごみ）を焼却処理しています。平成12年度にダイオキシン類削減対策を実施し、排ガス高度処理及び灰固形化施設の整備を行い、これまでダイオキシン類を捕集していた電気集じん器を、より性能の高いバグフィルター（ろ過式集じん器）に改造しました。

また、「粗大ごみ処理施設」では、秦野市及び伊勢原市から排出された不燃ごみ（不燃物）や粗大ごみを選別し、破碎処理しています。

選別工程において分別された可燃性のものについては、はだのクリーンセンターや伊勢原清掃工場90 t /日焼却施設で焼却処理し、不燃性のものについては、さらに非鉄類を取り除き、破碎処理等を経て、磁石選別機により鉄類と不燃物残渣に分別しています。

分けられた鉄類や非鉄類は資源化物として売却し、不燃物残渣は資源化等による最終処分を行っています。

なお、乾電池や水銀等の有害物質を含む蛍光灯などは、一時保管後、専門事業者により資源化するなど適正な処理をしています。

・ 粗大ごみ処理施設(※6)



平成 20 年代頃

③ 最終処分場の今と昔

・栗原一般廃棄物最終処分場(※7)



平成 11 年頃



令和元年頃

栃窪一般廃棄物最終処分場は、焼却灰の埋立処分に伴う浸出汚水を完全に処理できる高度な設備を有する施設として秦野市栃窪に設けられた施設です。

昭和 58 年 10 月に竣工し、その後、容量を増やすための改良工事を経て、平成 5 年 3 月に埋立を終了しています。

現在の最終処分場は、伊勢原市三ノ宮に栗原一般廃棄物最終処分場が設けられています。この施設では、はだのクリーンセンター及び伊勢原清掃工場 90 t / 日焼却施設で可燃ごみの焼却処理後に生じた焼却灰を埋立処分しています。

埋立終了期限は令和 5 年度末となっており、令和 2 年度末時点で全体容量の 9 割弱の埋め立てが完了しています。引き続き、適正かつ計画的な施設の維持管理、埋立処分を行っていきます。

なお、焼却灰のうち約半数は、圏外民間施設で道路の路盤材や河川の護岸材などに使用する人工砂、溶融スラグ及びセメントの原料として資源化处理されています。

・栃窪一般廃棄物最終処分場(※8)



昭和 58 年頃



令和 3 年頃

現在は、スポーツ広場として活用されています。

④ ごみ収集場所の今と昔

・ごみ収集場所 昭和 57 年頃



当時は、ごみの分別収集が進んでいませんでした。

・ごみ収集場所 令和 3 年



現在は、ごみの分別収集が進んだことから、可燃ごみの搬入量が大きく減り、収集場所も清潔に保たれるようになりました。

⑤ 秦野斎場の今と昔

・現在の秦野斎場(※9)



令和元年頃

・秦野斎場増築棟竣工式



平成30年

・バス型の霊柩自動車(※10)



昭和53年頃

当時は、このような自動車が運行されていましたが、利用者の減少、さらには、Nox規制法、総量規制法により運行停止となりました。

・旧秦野斎場(※11)



平成23年頃

向かって左が火葬棟(平成30年解体、現在は駐車場)
右は待合棟(改修後、現在の改修棟としてリニューアル)

秦野市及び伊勢原市がそれぞれ単独で行っていた火葬業務を共同処理するため、昭和50年4月に本組合の事業として「葬祭施設の設置及び管理業務」が追加され、昭和51年8月に秦野斎場(火葬場)が竣工しました。当時は火葬炉3炉と待合室3室での運営でしたが、人口の増加による火葬需要に応えるため、平成5年10月に火葬炉2炉を増設するとともに、平成10年に待合室を2室増設し、火葬炉5炉、待合室5室の体制となりました。その後、施設の老朽化が進み、さらに、将来的な火葬需要の増加が見込まれたことから、平成25年度に火葬炉8炉を持つ斎場の建設に関する基本計画を策定しました。平成26年度からは基本設計、実施設計を進め、平成28年度から3か年計画の建設工事に着手し、平成30年4月に増築棟、平成31年4月には改修棟の供用開始を経て現在に至っています。

現在の秦野斎場は、両市の火葬業務を行うため、火葬炉7炉(別に1炉分の予備スペース有)、待合室8室を備え、1日当たり最大16件の火葬が可能な施設です。また、排ガス処理や災害対策の強化を図るとともに、自然エネルギーを有効に活用した施設となっています。なお、令和3年度から施設の運営は、指定管理者により行っています。

・現在の秦野斎場待合室



令和元年頃

ニーズに合わせて全て椅子席となっています。

・旧秦野斎場待合室



平成23年頃

当初は畳スペースと椅子席がありました。

【地産地消の取り組みとして】

秦野斎場では、秦野・伊勢原産の木材を活用しています。秦野産の木材は東京2020オリンピック・パラリンピックにおける選手村に、伊勢原産の木材は伊勢原市内の小学校へ学習机として寄贈されるなど様々な場面で活用される両市の名産品の一つです。



秦野産木材

秦野市周辺の山々で育った杉材などを屋内ではエントランスホールの天井及び壁のルーバー、各階のロビー並びに待合室等の床フローリング等に使用し、さらに屋外ではバルコニー手すりなどに使用しています。

組子細工備品

秦野市の魅力ある商品、サービス、観光資源などをPRすることを目的とした「はだのブランド」に認定され、秦野産の木材を用いて製作された組子細工を、待合室入口の欄間や照明カバー、スタンド型照明、木格子つい立に採用しています。



日向石のモニュメント

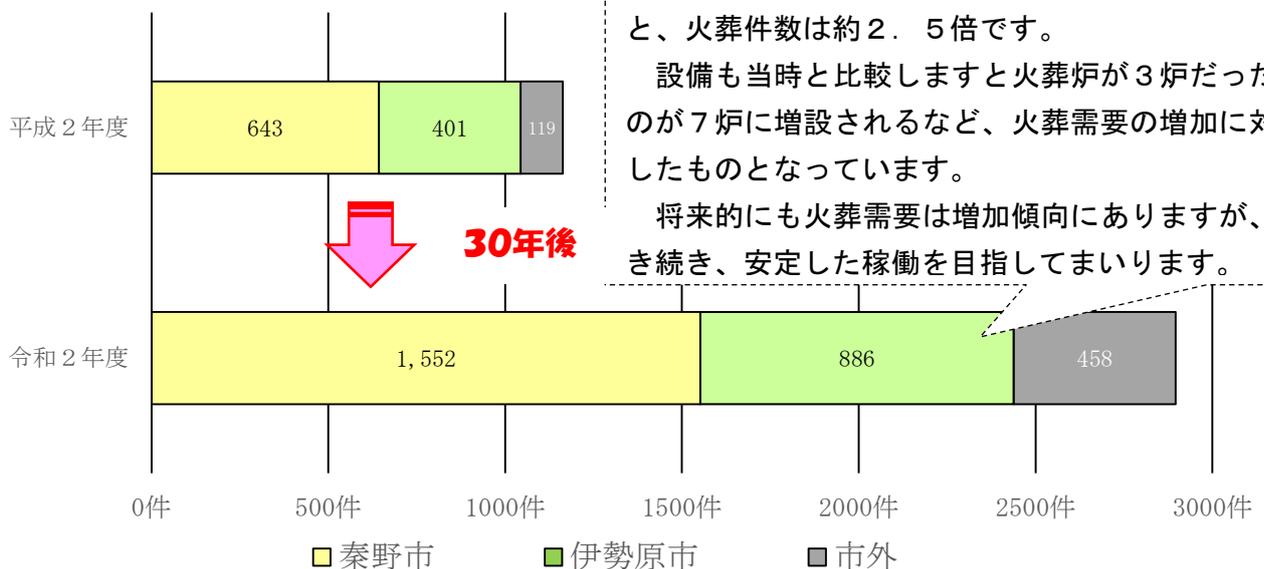
木材だけでなく、伊勢原市日向で採取した日向石を使用したモニュメントを場内の中庭や植栽帯に配置しました。緑の木々とともに見る人の心を癒やしています。



伊勢原産木材のベンチ

伊勢原市内の山々で育てた木材を使用して伊勢原市森林組合が作製したベンチをエントランスホール前や喫煙室に採用しています。

～火葬件数の推移～



30年前の平成22年度と令和2年度を比較しますと、火葬件数は約2.5倍です。

設備も当時と比較しますと火葬炉が3炉だったものが7炉に増設されるなど、火葬需要の増加に対応したものとなっています。

将来的にも火葬需要は増加傾向にありますが、引き続き、安定した稼働を目指してまいります。

4 名簿

(1) 歴代組合長

氏 名	就 任 期 間
加 藤 喜太郎	昭和36年 5月20日 ～ 昭和44年 3月16日
栗 原 藤 次	昭和44年 3月17日 ～ 昭和56年12月13日
柏 木 幹 雄	昭和57年 1月31日 ～ 平成 6年 1月30日
二 宮 忠 夫	平成 6年 1月31日 ～ 平成18年 1月30日
古 谷 義 幸	平成18年 1月31日 ～ 平成30年 1月30日
高 橋 昌 和	平成30年 1月31日 ～

(2) 歴代副組合長

氏 名	就 任 期 間
竹 内 新三郎	昭和36年 5月20日 ～ 昭和37年12月18日
大 森 信 孝	昭和36年 5月20日 ～ 昭和37年12月31日
石 井 平	昭和37年12月19日 ～ 昭和41年12月 7日
浜 田 好 一	昭和41年12月 8日 ～ 昭和47年 8月10日
中 村 周 二	昭和47年10月 1日 ～ 昭和59年 9月30日
永 井 高 夫	昭和59年10月 1日 ～ 平成 4年 9月30日
堀 江 侃	平成 4年10月 1日 ～ 平成16年 9月30日
長 塚 幾 子	平成16年10月 1日 ～ 平成24年 9月30日
高 山 松太郎	平成24年10月 1日 ～

(3) 歴代収入役

氏 名	就 任 期 間
武 平 吉	昭和36年 5月20日 ～ 昭和39年12月31日
大 森 信 孝	昭和40年 4月16日 ～ 昭和44年 3月16日
高 橋 眞	昭和44年 9月20日 ～ 昭和56年 9月22日
平 井 稔	昭和56年10月13日 ～ 昭和63年 3月31日
宮 永 克 巳	昭和63年 9月24日 ～ 平成 6年 3月31日
山 口 英 夫	平成 6年 4月 1日 ～ 平成10年 3月31日
森 谷 四 郎	平成10年 4月 1日 ～ 平成14年 3月31日
片 岡 英太郎	平成14年 4月 1日 ～ 平成16年 5月19日
中 村 良 之	平成16年10月 1日 ～ 平成18年 8月17日

※ 地方自治法の改正により、平成19年4月から収入役が廃止されました。

(4) 歴代組合議会議長

氏 名	就 任 期 間
仲 原 恵 作	昭和36年 7月 8日 ~ 昭和38年 9月10日
三 杉 一 雄	昭和38年10月21日 ~ 昭和40年 9月14日
青 木 吉 長	昭和40年10月15日 ~ 昭和42年 9月10日
青 木 吉 長	昭和42年10月23日 ~ 昭和43年 9月26日
大 津 茂 雄	昭和43年10月11日 ~ 昭和46年 3月24日
仲 原 恵 作	昭和46年 3月26日 ~ 昭和46年 9月10日
関 八々雄	昭和46年 9月30日 ~ 昭和48年 9月25日
関 八々雄	昭和48年10月 6日 ~ 昭和49年 9月28日
久保寺 恵太郎	昭和49年11月15日 ~ 昭和50年 9月10日
三 竹 範 義	昭和50年10月15日 ~ 昭和52年 9月20日
平 井 住太郎	昭和52年10月 5日 ~ 昭和54年 9月10日
高 橋 卯 七	昭和54年 9月29日 ~ 昭和56年 2月16日
秋 山 喜代次	昭和56年 3月28日 ~ 昭和56年 9月25日
浅 見 武	昭和56年 9月29日 ~ 昭和58年 9月10日
山 口 寅 次	昭和58年10月 5日 ~ 昭和59年 9月17日
池 田 卯太郎	昭和59年 9月26日 ~ 昭和60年 9月19日
草 山 忠 文	昭和60年10月 2日 ~ 昭和62年 9月10日
横 溝 泰 世	昭和62年10月 9日 ~ 平成元年 9月19日
原 晟	平成元年 9月29日 ~ 平成 3年 9月10日
柏 木 義 晴	平成 3年10月11日 ~ 平成 4年 9月 9日
相 原 富 男	平成 4年10月 9日 ~ 平成 5年 9月10日
栗 原 義 則	平成 5年10月14日 ~ 平成 7年 9月10日
諸 星 光	平成 7年10月 6日 ~ 平成 9年 9月10日
北 村 弥一郎	平成 9年 9月30日 ~ 平成11年 9月10日
和 田 厚 行	平成11年10月12日 ~ 平成12年 9月27日
浅 見 武	平成12年 9月27日 ~ 平成13年 9月12日
高 橋 文 雄	平成13年10月 1日 ~ 平成14年 9月25日
福 岡 豊	平成14年 9月25日 ~ 平成15年 9月10日
高 橋 徹 夫	平成15年10月 8日 ~ 平成16年 6月25日
高 橋 文 雄	平成16年 6月25日 ~ 平成17年 9月12日
込 山 弘 行	平成17年10月11日 ~ 平成19年 9月10日
三 竹 正 義	平成19年10月19日 ~ 平成21年 9月 3日
風 間 正 子	平成21年10月13日 ~ 平成23年 9月10日
阿 蘇 佳 一	平成23年10月20日 ~ 平成25年 9月 6日
高 橋 照 雄	平成25年10月15日 ~ 平成27年 9月10日
大 野 祐 司	平成27年10月23日 ~ 平成29年 9月 7日
村 上 茂	平成29年10月 5日 ~ 令和元年 9月10日
相 原 學	令和元年10月21日 ~

(5) 歴代組合議会副議長

氏 名	就 任 期 間
飯 塚 博	昭和36年 7月 8日 ~ 昭和38年 4月29日
浜 田 好 一	昭和38年 7月 1日 ~ 昭和40年 3月28日
浜 田 好 一	昭和40年 6月10日 ~ 昭和41年11月19日
三 橋 邦 明	昭和41年12月26日 ~ 昭和42年 4月29日
三 橋 邦 明	昭和42年10月23日 ~ 昭和44年 4月30日
飯 塚 清	昭和44年 6月11日 ~ 昭和46年 4月30日
三 橋 邦 明	昭和46年 5月19日 ~ 昭和48年 4月24日
飯 塚 清	昭和48年 6月12日 ~ 昭和50年 4月29日
三 橋 邦 明	昭和50年 5月23日 ~ 昭和52年 4月29日
菊 村 久 雄	昭和52年 6月25日 ~ 昭和54年 4月28日
小 泉 春 吉	昭和54年 6月22日 ~ 昭和56年 4月28日
三 橋 邦 明	昭和56年 6月26日 ~ 昭和58年 4月29日
小 泉 春 吉	昭和58年 7月 4日 ~ 昭和60年 5月 8日
小 泉 春 吉	昭和60年 6月27日 ~ 昭和62年 4月29日
小 泉 春 吉	昭和62年 6月24日 ~ 平成元年 5月 1日
鍛 代 一 三	平成元年 6月22日 ~ 平成 3年 4月29日
葛 貫 澄 雄	平成 3年 6月24日 ~ 平成 5年 5月10日
飯 田 昌 弘	平成 5年 6月29日 ~ 平成 7年 4月29日
長 塚 栄	平成 7年 6月27日 ~ 平成 9年 5月 8日
山 田 敬 子	平成 9年 6月23日 ~ 平成11年 4月29日
越 地 正	平成11年 6月28日 ~ 平成13年 5月13日
大 谷 弘	平成13年 5月31日 ~ 平成15年 4月29日
清 水 輝 雄	平成15年 6月30日 ~ 平成17年 5月13日
石 井 誠 一	平成17年 6月27日 ~ 平成19年 4月29日
宮 坂 順 一	平成19年 7月 2日 ~ 平成21年 5月13日
前 田 秀 資	平成21年 5月26日 ~ 平成23年 4月29日
中 台 和 子	平成23年 6月29日 ~ 平成25年 5月14日
石 川 節 治	平成25年 7月 8日 ~ 平成27年 4月29日
小 沼 富 夫	平成27年 7月 1日 ~ 平成29年 5月15日
横 田 典 之	平成29年 6月29日 ~ 平成30年 1月19日
国 島 正 富	平成30年 3月29日 ~ 平成31年 4月29日
安 藤 玄 一	令和元年 7月 2日 ~ 令和 3年 5月17日
小 沼 富 夫	令和 3年 7月 1日 ~

(6) 歴代識見を有する監査委員

氏 名	就 任 期 間
宮 村 進 治	平成 7年10月 6日 ~ 平成10年12月31日
山 口 英 夫	平成11年 1月 1日 ~ 平成14年12月31日
布 施 秋 男	平成15年 1月 1日 ~ 平成18年12月31日
小 鷲 猛	平成19年 1月 1日 ~ 平成22年12月31日
小 高 良 治	平成23年 1月 1日 ~ 平成26年12月31日
杉 崎 貞 夫	平成27年 1月 1日 ~ 平成29年10月 4日
島 和 俊	平成29年10月 5日 ~

(7) 歴代議員選出監査委員（秦野市議会選出議員）

氏 名	就 任 期 間
関 口 澄	昭和36年 7月13日 ~ 昭和38年 9月10日
栗 原 達 夫	昭和38年10月21日 ~ 昭和40年 9月14日
諸 星 孝 吉	昭和40年10月15日 ~ 昭和42年 9月10日
榎 本 泰 蔵	昭和42年10月23日 ~ 昭和44年 9月23日
仲 原 恵 作	昭和44年10月21日 ~ 昭和46年 3月26日
川 口 喜 助	昭和46年 3月26日 ~ 昭和46年 9月10日
門 倉 祐 造	昭和46年 9月30日 ~ 昭和48年 9月25日
門 倉 祐 造	昭和48年10月 6日 ~ 昭和50年 9月10日
山 本 博	昭和50年10月15日 ~ 昭和52年 9月20日
池 田 卯太郎	昭和52年10月 5日 ~ 昭和54年 9月10日
山 谷 久万吉	昭和54年 9月29日 ~ 昭和56年 9月25日
富 川 清	昭和57年 6月29日 ~ 昭和58年 9月10日
草 山 忠 文	昭和58年10月 5日 ~ 昭和59年 9月17日
古 谷 義 幸	昭和59年 9月26日 ~ 昭和60年 9月19日
原 米 司	昭和60年10月 2日 ~ 昭和62年 9月10日
柏 木 義 晴	昭和62年10月 9日 ~ 平成元年 9月19日
宮 川 住 雄	平成元年 9月29日 ~ 平成 3年 9月10日
今 井 敏	平成 3年10月11日 ~ 平成 5年 9月10日
石 田 丑之助	平成 5年10月14日 ~ 平成 7年 9月10日
幡 鎌 芳 明	平成 9年 9月30日 ~ 平成11年 9月10日
諸 星 光	平成13年10月 1日 ~ 平成15年 9月10日
宮 川 住 雄	平成17年10月11日 ~ 平成19年 9月10日
込 山 弘 行	平成21年10月13日 ~ 平成23年 9月10日
大 野 祐 司	平成25年10月15日 ~ 平成27年 9月10日
諸 星 光	平成29年10月 5日 ~ 令和元年 9月10日

(8) 歴代議員選出監査委員（伊勢原市議会選出議員）

氏 名	就 任 期 間
栗原達夫(※)	昭和36年 7月13日 ~ 昭和37年12月31日
成 田 勝 治	昭和38年 1月16日 ~ 昭和38年 4月29日
吉 川 四 朗	昭和38年 7月 1日 ~ 昭和40年 3月28日
中 村 伊三郎	昭和40年 6月10日 ~ 昭和41年12月22日
原 作太郎	昭和41年12月26日 ~ 昭和42年 4月29日
飯 塚 清	昭和42年10月23日 ~ 昭和44年 4月30日
牛 村 兼 治	昭和44年 6月11日 ~ 昭和46年 4月30日
風 間 繁 次	昭和46年 5月19日 ~ 昭和48年 4月24日
小 泉 春 吉	昭和48年 6月12日 ~ 昭和50年 4月29日
渡 辺 博	昭和50年 5月23日 ~ 昭和52年 4月29日
渡 辺 博	昭和52年 6月25日 ~ 昭和54年 4月29日
鍛 代 一 三	昭和54年 6月22日 ~ 昭和56年 4月28日
鍛 代 保	昭和56年 6月26日 ~ 昭和58年 4月29日
三 橋 邦 明	昭和58年 7月 4日 ~ 昭和60年 5月 8日
能 條 和 夫	昭和60年 6月27日 ~ 昭和62年 4月29日
鍛 代 一 三	昭和62年 6月24日 ~ 平成元年 5月 2日
山 崎 喜三郎	平成元年 6月22日 ~ 平成 3年 4月29日
石 井 誠 一	平成 3年 6月24日 ~ 平成 5年 5月10日
石 川 一 正	平成 5年 6月29日 ~ 平成 7年 4月29日
山 田 敬 子	平成 7年10月 6日 ~ 平成 9年 5月 8日
細 野 収 司	平成11年10月12日 ~ 平成13年 5月13日
山 田 敬 子	平成15年10月 8日 ~ 平成17年 5月13日
前 田 秀 資	平成19年10月19日 ~ 平成21年 5月13日
石 井 誠 一	平成21年 5月26日 ~ 平成21年 9月30日
山 本 一 恵	平成23年10月20日 ~ 平成25年 5月14日
前 澤 良 二	平成25年 7月 8日 ~ 平成25年10月14日
小 山 博 正	平成27年10月23日 ~ 平成29年10月 4日
小 沼 富 夫	令和元年10月21日 ~ 令和 3年 6月30日
大 山 学	令和 3年 7月 1日 ~

※ 西秦野町議会選出議員

(9) 歴代事務局長

氏 名	就 任 期 間
森 岡 造	昭和36年 7月 1日 ~ 昭和38年12月31日
石 田 幸 平	昭和39年 1月 1日 ~ 昭和40年 3月31日
五十嵐 秀 男	昭和40年 4月 1日 ~ 昭和44年10月26日
宮 永 克 巳	昭和44年10月27日 ~ 昭和48年 7月31日
菊 池 勝 夫	昭和48年 8月 1日 ~ 昭和51年 7月31日
安 田 梅三郎	昭和51年 8月 1日 ~ 昭和55年 7月31日
関 野 忠 夫	昭和55年 8月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
川 口 芳 一	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和61年 3月31日
西 村 正 誼	昭和61年 4月 1日 ~ 平成 3年 3月31日
今 井 次 男	平成 3年 4月 1日 ~ 平成 5年 3月31日
井 上 寔 也	平成 5年 4月 1日 ~ 平成 8年 3月31日
諸 星 好 昭	平成 8年 4月 1日 ~ 平成10年 3月31日
関 野 一 三	平成10年 4月 1日 ~ 平成12年 3月31日
脇 山 明 徳	平成12年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
杉 崎 貞 夫	平成16年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日
石 川 和 利	平成20年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
山 口 一 男	平成22年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日
小 澤 勲	平成24年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
串 田 浩	平成28年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日
橋 本 晋 一	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
沼 崎 千 春	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 5月31日
小清水 雅 之	令和 2年 6月 1日 ~ 令和 3年 3月31日
内 海 元	令和 3年 4月 1日 ~

60年のあゆみ

(令和3年9月発行)

編集・発行 秦野市伊勢原市環境衛生組合

住 所 神奈川県秦野市曾屋4624番地

T E L 0463-82-2500

E-mail info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp

ホームページ <http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp>